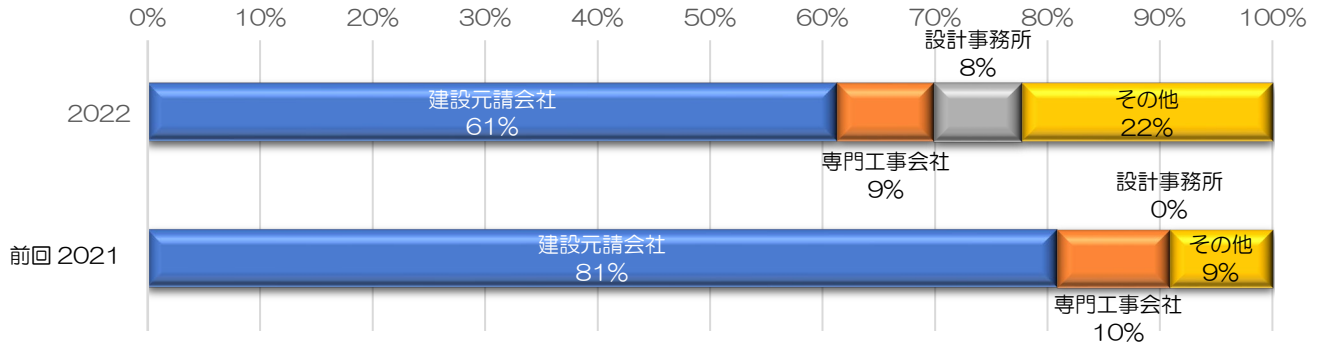


「日建連 BIM セミナー2022」アンケート結果

アンケート回収数：476 、回収率：52%

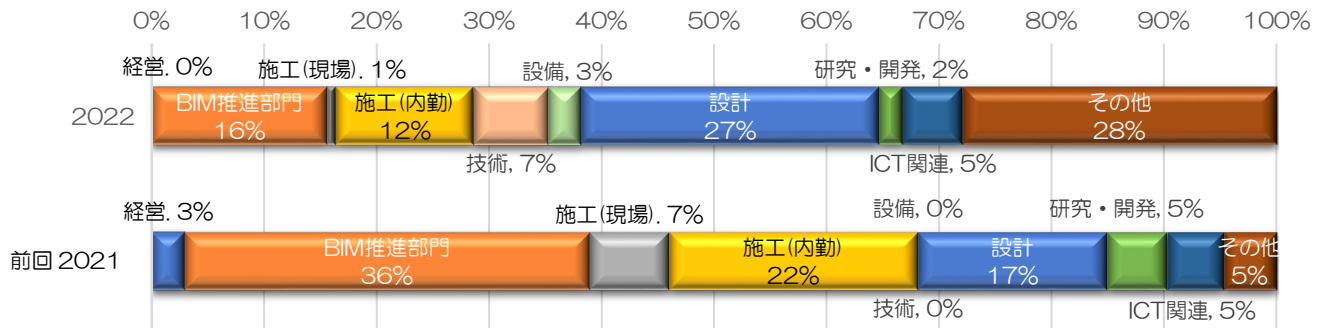
1. 参加者(アンケート提出者)の所属会社について [%]



○「その他」の内容

- ・官庁・自治体(3%)、ソフトウェアベンダー(3%)、研究・教育機関(2%)、デベロッパー・コンサル(2%)、その他(12%)

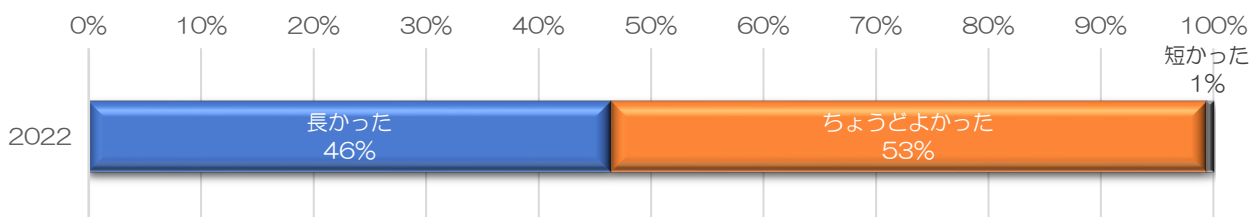
2. 参加者(アンケート提出者)の所属部署について [%]



○「その他」の内容

- ・営業(1%)、企画(3%)、建築・事業・工事本部(3%)、積算・見積り(2%)、国際・海外部門(1%)、その他(18%)

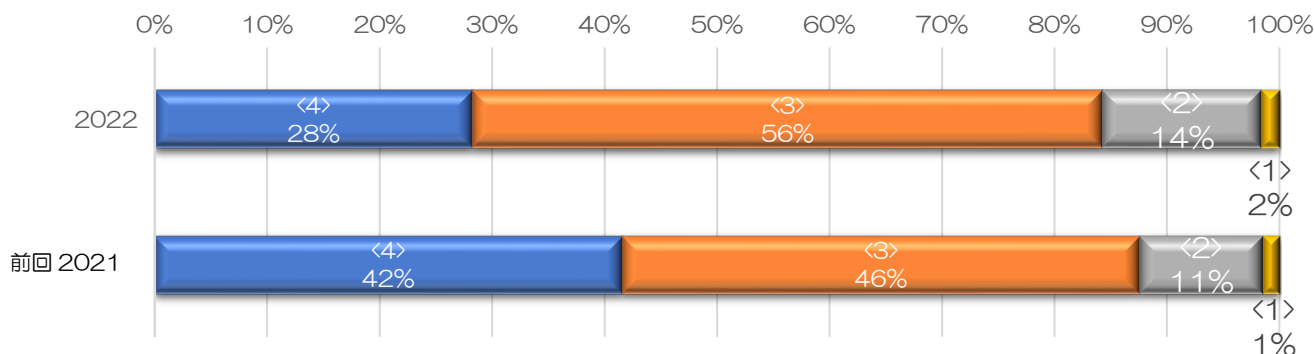
3. 講演時間について [%]



4. セミナーの参考度について [%]

凡例：参考度（4段階評価）

参考になった ← 4 - 3 - 2 - 1 → 参考にならなかった



○セミナーで足りなかったところは？

■講演時間について

- ・講演時間が長い。できれば2時間程度が良いと思います。
- ・講演時間が長く疲れた。
- ・講演時間が長いので、複数回に分けてもらえると、集中して聞けると思います。
- ・質問時間を長くしてほしい。
- ・質疑時間が長く感じた。
- ・1年ごとの開催を増やす、もしくは活動毎に開催することは検討されていないでしょうか。

■講義資料について

- ・事前に講演資料に目を通したい。
- ・配布資料を印刷して、手元にメモをして視聴したかった。
- ・講演内容を概略でも良いので、配布してもらえれば、質問等も考えられて有難い。
- ・事前に発表資料があればもっと分かりやすい。
- ・講演資料の配布案内が欲しかった。

■発表方法について

- ・スライド1枚あたりの情報量が多すぎる。
- ・一部資料の文字が小さすぎて見えなかった。説明箇所をズームにする等してほしい。
- ・資料のどこを説明しているのかが分かりづらい。ポインターで指してもらえると分かりやすい。
- ・もう少し画像を多く、メリハリをつけてもらえると有難いです。
- ・長時間内容の濃いものを端折って淡々と進んでいくため、詳細部分の理解が出来なかった。
- ・パワーポイントのみで、原稿を読むスタイルでは、情報量が多く理解が追い付きませんでした。

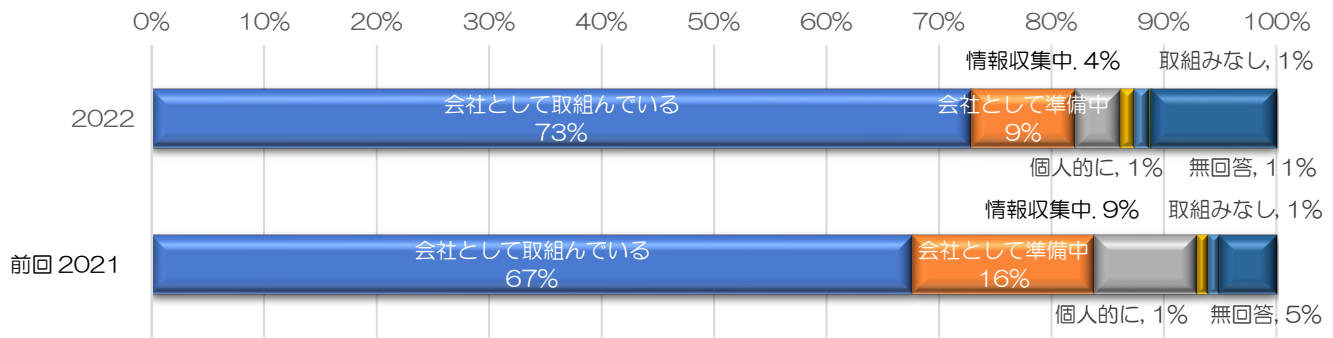
■発表内容について

- 具体的な活用事例を知りたい。(3件)
- 目新しい要素がない。
- 数年前に比べて現実に直面し、より難しさに直面しているのをひしひしと感じた。
- 建築申請書の承認との兼ね合いがいまいち不透明。
- BIM を始めた人からすると、近寄りがたい内容だったと思います。
- 専門分野の話題が少なかった。
- すべて活動報告で、思っていた内容と違っていた。
- ライブラリの内容をもう少し詳しく見たかった。
- ホームページのどこに資料があるのか分かりにくい。

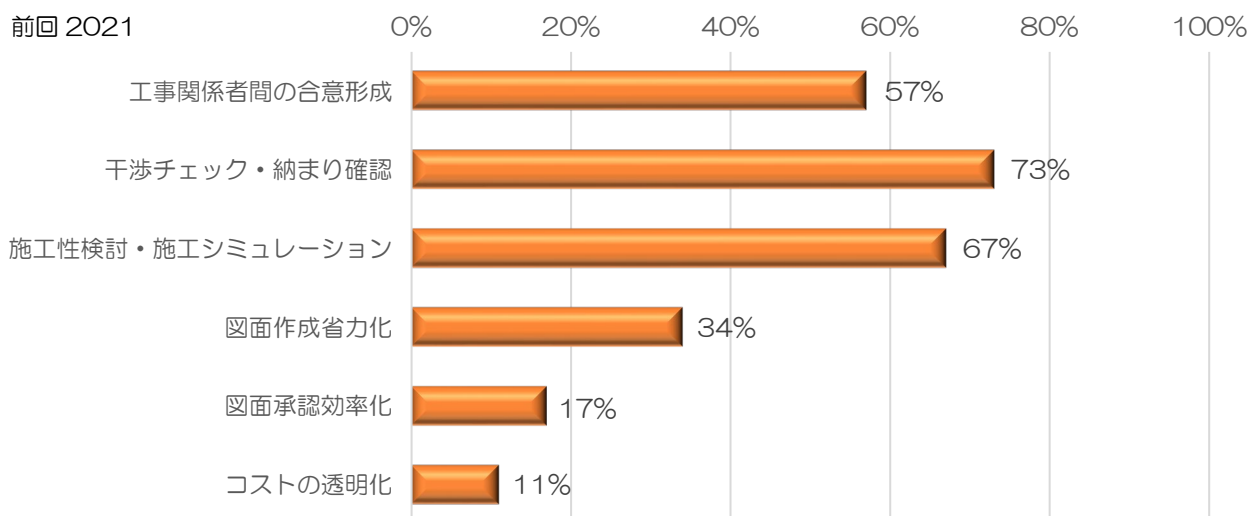
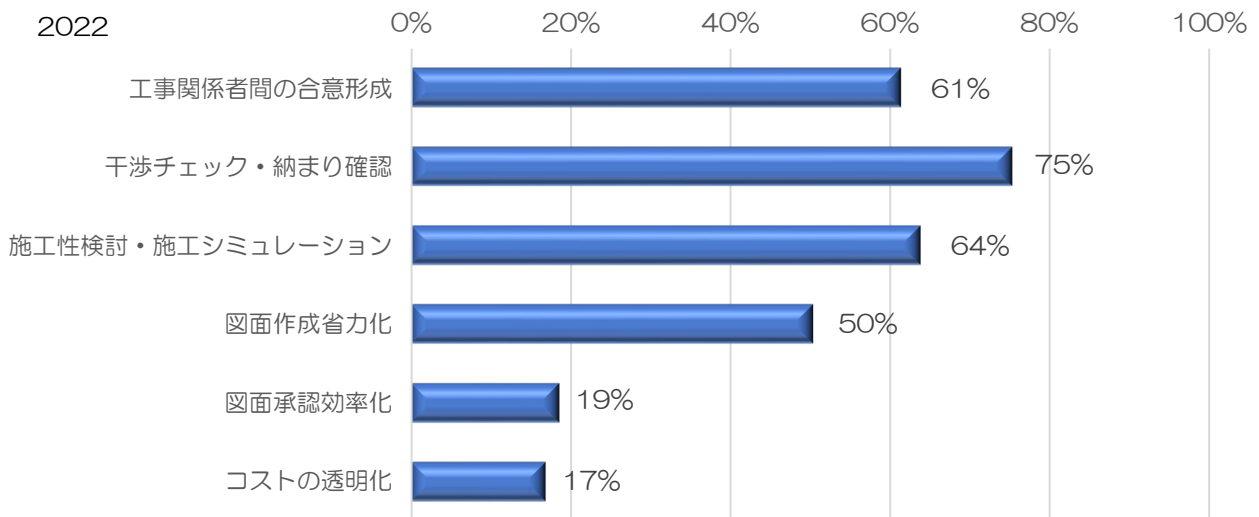
○その他意見

- 貴重な情報をありがとうございました。
- 設計のワークフローの意識改革がなければ BIM は間違いなく上手くいかないことを再認識できた。

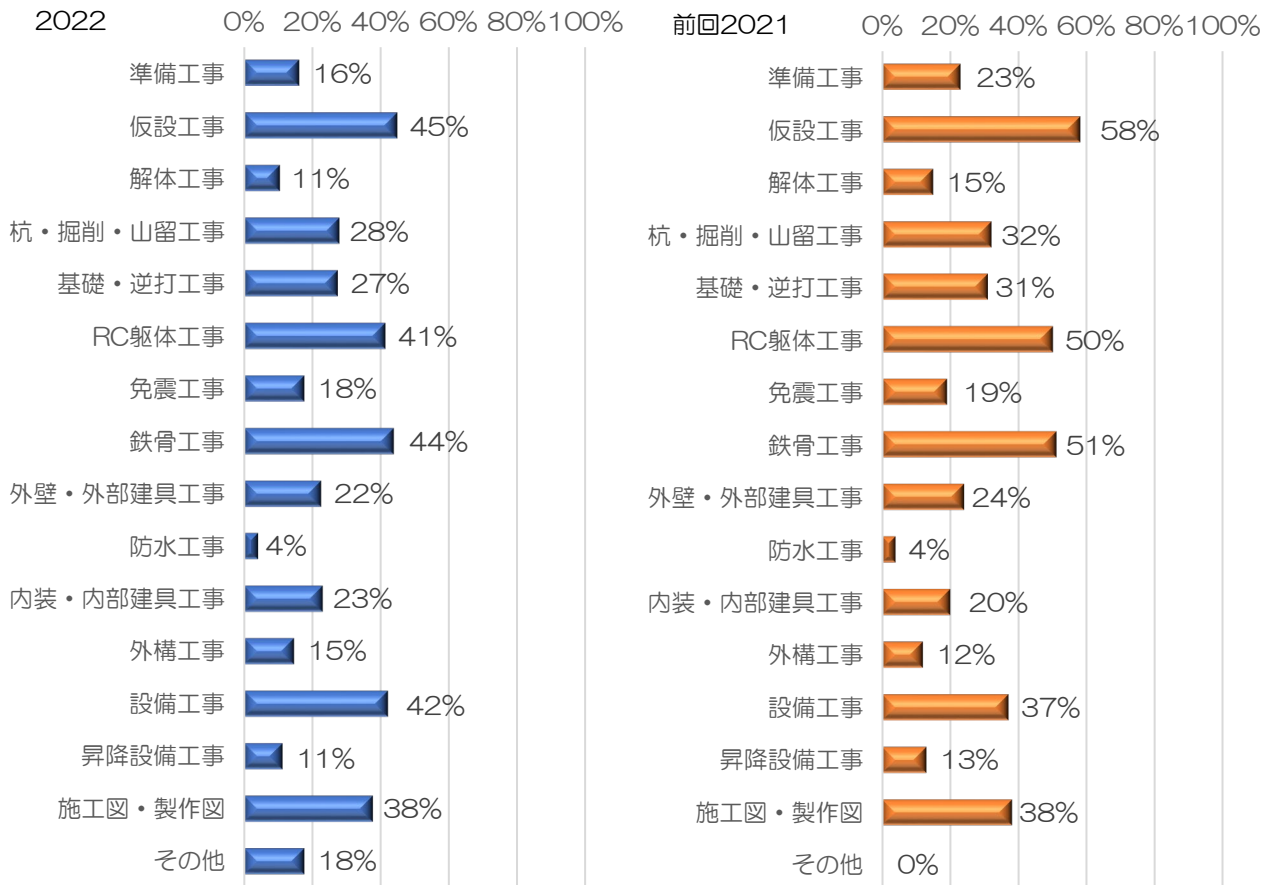
5. 施工 BIM の取組みについて



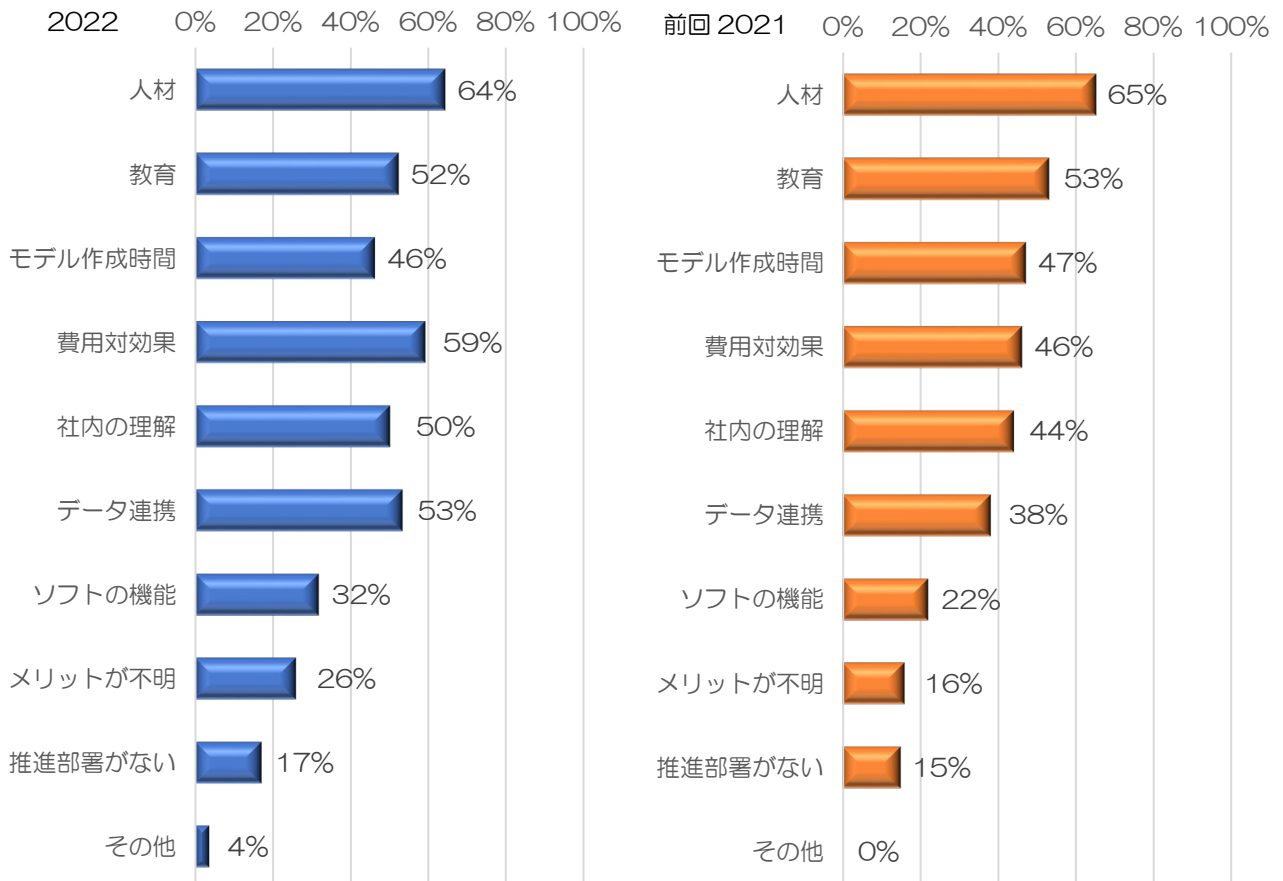
6. 施工 BIM の目的（複数回答）



7. 施工 BIM の工種（複数回答）



8. 施工 BIM の課題（複数回答）



9. その他、「本セミナー全般に関する意見・感想」「日建連のBIMに関する活動への意見・感想」

「BIMへの取組み推進にあたって日建連に期待すること」等ありましたら、ご自由にご記入ください。

《本セミナー全般に関する意見》

- 活動報告の内容によりますが、どちらかと言えば取組事例や各専門業者の動向が知りたいです。(2)
- 事前に発表資料を配布して頂くことが可能であればメモが取りやすく内容の理解が更に深められると思いました。(2)
- 現時点では施主に対して明確なメリットを提示出来ない状況にあるため、BIMの普及が進まない印象を受けました。メリットを提示出来ないのであれば、確認申請自体をBIMデータ必須にするなどの制度改革を考える必要があると思います。
- 設計変更対応の話が有りましたが、施工業者だけでなく、お施主様の意識改革が重要と思います。設計者としての責任を果たすことを求めます。変更したら経費が掛かることを認識して欲しいです。
- 特に設備系のBIM活用事例をよりわかりやすく情報展開していただきたいです。
- 中小企業と協力業者における、BIM導入の手法についてお聞きしたいです。
- 他社様の事例紹介等具体的案等があれば参考になり普及が進むと思う。
- 今回の内容のオンデマンド配信はありませんでしょうか？(3)
社内のBIMを理解してほしい責任者への説明に使えますし、興味を持っていただける内容となっているため、ぜひオンデマンド配信をお願いいたします。
- 建材メーカー側からの意見も取り上げてほしい。
- 設備においてRebroやTfas、Revit MEPに関する詳細情報を知りたい。
また、設備に注視した導入事例があれば紹介をしていただきたい。(2)
- BIM取組みメリットをもっとアピールして方が良い。(2)
- 積算取組みを知りたい。
- 実際のソフトの操作方法についてメインでやってほしい。(2)
- BIMソフトが高額である事と複雑なソフトのBIMマネージャーがいらない事から、様々な人が無駄に時間を使っており、大手以外ではBIM化が進んでないと思います。具体的なお話があるとよいと思います。
- 現実には、BIMを導入したものの、中々進んでいない状況や課題が、どこも同じことが良くわかりました。
- 施工BIMの取組みについて地域差があるようでしたら、教えていただきたい。(2)
地方は、まだBIMに無関心だと思います。
- 元請けよりBIMの取組みを要請される場合があるが、元請け側が依頼してきているのに、建築のBIM情報の精度が悪いため、施工精度が上がらない。また、最終的には、施工段階になり、元請け側が断念するケースが多い。
- 設計施工一気通貫型、設計施工分離型のどちらも成功運用例がいくつも紹介していただけると嬉しいです。
これからの取組み方の指標となればと思います。

《本セミナー全般に関する感想》

- 今後も、定期的に情報提供をお願いいたします。
- 本セミナーにて、この一年でさらに進んだことを実感できました。
- 会員に対してBIMへのスタンスをわかりやすく説明されていると思いました。
数量算出への活用が少ないことに驚きました。
- いま始まった取組みのようなので今後の具体的な報告を期待します。

- 設計の合意形成が積み上げ型なので、この点を解消すべきと思っています。
非常にコストが掛かります。
- 業界全体の BIM の動向を知るために参加させていただきました。
大変参考になりました。ありがとうございました。
- 定期的に BIM 取り組みや BIM の広がりを知ることが出来る機会を設けてもらえるのが非常にありがたいです。
- 情報提供の場、他分野の状況把握などで拝見させて頂きました。
今後も情報収集等の場として参加させて頂ければ良いと思います。
- 生産性向上のためにも建設業界全体の BIM データの標準化が望まれることが分かりました。
- 日建連のホームページに色々な素材がある事が理解できました。今後とも情報発信をお願いいたします。
- 最後の講演での「提言」の部分は、まさに！と思うことばかりでした。今後活動に大いに期待しています。
元請と専門工事会社の関係、特に BEP のやりとりに関しては、ゼネコン設計部門と協力設計事務所との関係にも
転用できるのではないかと思案しています。
- BIM 承認などの整備がもう少し早く進んで行って欲しい。
- BIM は建設会社にとって不可欠の技術となると思います。このような情報提供を続けてください。
- 今後も最新技術などの情報発信をしてほしい。
- より多くの導入事例・活動事例の水平展開をしていただきたい。
- BIM の取り組みにおける業界の動向が分かって非常に参考になりました。
- このような発信を頻繁にやってほしい。社内に発信する事で推進にも繋がる。
- BIM に対する考え方 扱い方を考えるに十分な内容でした。
- 他社のワークフローを示していただくと、自社の取り組みの違いや方向性の修正にもなりますので、
今後とも発信をよろしくお願いします。
- 社内で推進する立場としてとても頼りにしていますので、今後ともよろしく願いいたします。

《日建連の BIM に関する活動への意見》

- メーカーからの Revit ファミリの提供があると非常に助かります。
- 引き続き、最新情報の発信をお願いいたします。また、円滑な合意形成のための活動もお願いいたします。
- BIM 先進国からの情報なども取り入れつつ、日本の建築業界に適したワークフローを提示頂けたらと思います。
- BIM モデル作成等の BIM 標準化を早く進めてほしい。(4)
- 日建連は建設業界を代表する団体であり、BIM に対する業界としての取組方針・方向性を打ち出して頂くことは
大変有難いと思っていますので、是非この活動を継続して進めて頂きたいと思います。
- 建築と土木の連携についても模索をしてもらいたい。
- BIM に関する講習・セミナーの開催をどんどんやってほしい。(3)
土木の開催数の方が多いような気がします。
- 強いリーダーシップを発揮して頂き、業界の標準化とその情報公開をお願いしたい。
- サブコン、鉄骨、仕上げ等の業界との連携に注力してほしい。

日建連の BIM に関する活動への感想

- 業界をリードする日建連の BIM に関する活動に感謝します。
- BIM の推進のうえで、もっともパワーのある組織として益々の活動に期待します。
- 業務が効率化され、現場に追われることなく、完全週休 2 日が通常化される事の実現できれば。
- 日建連の取り組みの詳細が把握でき有意義なセミナー聴講でした。
- 建築に関係する小規模な会社、設計事務所から施工管理会社まで、万遍なく、どのように啓蒙し浸透させていくのかに興味があります。

《BIM への取り組み推進に当たって日建連に期待すること》

- 様々な業種の BIM オブジェクトが日建連のホームページに集まりいつでも使えるようになると良い。
- 実務に落とし込んだ BIM 活用として、ゼネコン各社で同条件の CDE、工種、期間で模擬し示す事ができれば。
日建連として、手法、ツール限定できない事は理解しますが、底上げに期待します。
- 現状は産みの苦しみでどのポジションの人達も苦勞している。
日本の建設作業の一気通貫には一刻も早くフォーマットやルールの設定が必須であると感じました。
日建連の今後の活動に期待しています。
- 施主含めて関連会社と規格を統一していく必要があると思います。
引き続き、建設業の BIM に関する取りまとめをお願いします。
- BIM プロジェクトについては、従来の設計業務対応と同様の扱いとならないよう、モデル作成業務に対して適正な対価の確保をお願いしたい。
- 専門工事会社の立場から見ると、設計事務所やゼネコン各社でルールがあるように思えます。
完全なルール統一はできないと思いますが、BIM データの大まかな活用方法について方針を示していただくことをご要望します。
- 国交相のガイドラインや日建連の内容をもっと建設業界にいる多くの方に周知できるように推進活動も行っていただきたい
- 現場がまだまだ BIM について来られていないので、日建連としてここに着目した活動をしてもらえたらと思います。
- 建設業の生産性向上に向けて日建連として BIM 活用を推進する活動を期待しています。
例えば、専門業者とのデジタル情報連携などは生産向上の効果があり、日建連でしか実現できない取組と考えます。
- 仮設の足場ファミリの提供がされないということは本当に残念でした。
高機能なファミリではなく、寸法等だけでも合致したファミリを提供していただきたいです。
そこが、まだまだ BIM 普及のハードルになっているような気がします。
- 国内で BIM をより推進するために、建材メーカー等との連携に期待しております。
- Revit ワンモデルでの集約を望まれているゼネコンが多いが、そこに設備 CAD (Rebro 等) がデータ落ちなく連携できる仕組み作りにも期待しています。
- IFC への取り組みについて期待しております。